



# 高齢者の暮らしを考える

松阪市では高齢者の方が元気に安心して生活し続けるために、様々な取り組みが実施されています。その中でも、増加が見込まれる認知症の方への支援がとても活発に行われています。今回は東地区で「高齢者見守り・声掛け訓練」が開催されましたのでお話を伺いました。



## インタビュー



住民協議会会長  
堀口 信男さん

### 高齢者見守り・声掛け訓練について教えてください。

認知症の方の徘徊による事故や行方不明が社会問題になっています。地域で防げることもあるはずなのですが、気持ちはあっても実際にどのように対応したらよいのかわからないとの声をよく耳にします。そこで、グループ毎に、案内・認知症役・説明・記録などの役割

### 「高齢者見守り・声掛け訓練 in 東地区」 認知症の方を見守りましょう」

を分担して地域のお店やお家を訪問し、認知症役の高齢者に声をかける体験をしてもらう内容にしました。ご協力いただいた後は、声掛けの方法をまとめた資料を渡して、より理解を深めてもらえるようにしました。

### 訓練をしてみてもう一度でしたか。

地域には事前に回覧板等で周知していたため、訪問した際も快く対応していただくことができました。どのように声を掛けていいのか迷われた方もみえましたが、徘徊されている方を見かけた場合、さ



りげなく見守りながら安全を確保するのが大事です。

訓練の参加者からは「ふだんから気を付けたい」「住民協議会が率先してこのような取組をしてくれているので安心」などの声を聞くことができました。今回の訓練では認知症役を務めさせていただきましたが、このような訓練を通じて、多くの方に関心を持っていただきたいと思います。今後より良い地域づくりをめざしたいと思います。

### 第四地域包括支援センター

介護家族さんからは「街なかで認知症サポーターのオレンジリングを見ると安心する」という声をよく聞きます。認知症は病気であることをみなさんに知ってもらい、他人事ではないと感じていただきたいです。

私たちも、ひとつひとつの地域へ出ていき、地域の方々と一緒に「誰もが安心して暮らせる地域づくり」に取り組んでいきたいと思っています。

### 「高齢者見守り・声掛け訓練とは？」

認知症に対する理解を深めると共に、認知症等により行方不明になった高齢者をできるだけ早く発見し、適切な対応ができる地域づくりを目的とした訓練です。